

病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。アフガニスタンに建設した用水路の水が、干ばつの大地を恵み豊かな緑地に変え、65万人の命を支えている。

2019年12月、中村医師は、凶弾に倒れた。

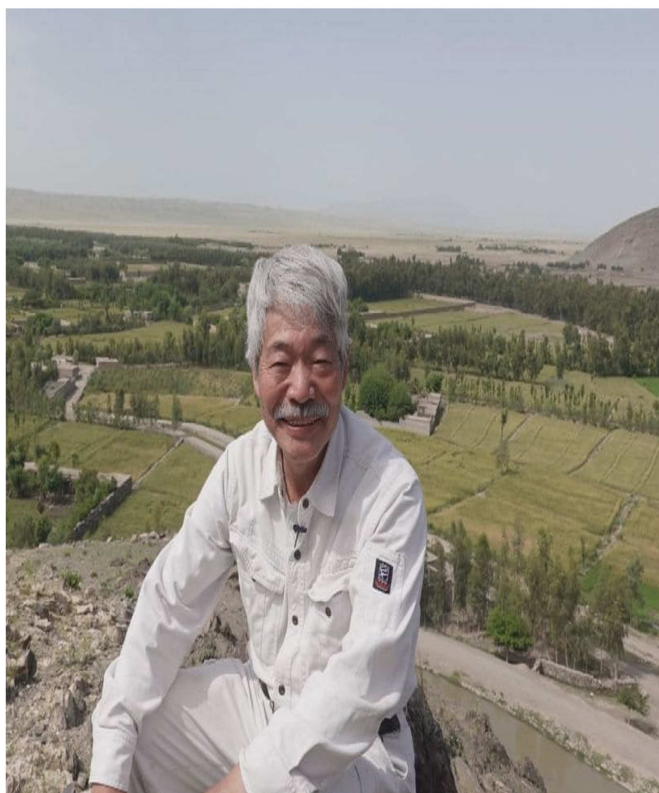
その突然の死は、多くの人に深い悲しみをもたらした。だが、一方で私たちに強く問いかけもする。中村医師が命を賭して遺したものは何なのか、その視線の先に目指していたものは何なのか。

中村哲が遺した文章と1000時間に及ぶ記録映像をもとに、現地活動の実践と施策をひも解く。



荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～



上映時間 1時間28分

上映会とパネル展

会場 西市民センター

—入場料 無料—

上映会 4月23日（土）

- ①10:00～ ホール
- ②13:00～ 視聴覚室
- ③15:00～ ”
- ④18:00～ ”

パネル展 4月18日～23日

開始 18日（月）12:00 1階ロビー
終了 23日（土）16:00 ”

* 視聴覚室は定員72名の制限があります。①回めのホールでの鑑賞をお勧めいたします。

=主催= 西区九条の会

事務局 溝上道子 090-9651-3953